

## 宮地岳線の存続に関する請願書

紹介議員

福津市議会議員 岩城 俊郎

長嶋 重文

吉田 猛虎

中川 武己

寺嶋 弥寿人

渡辺 理恵

西地 義徳

大久保美喜男

請願者氏名 住 所

氏 名

電話番号

## 件 名

宮地岳線を鉄道として存続させることを福津市及び市議会に調査検討を  
求める請願

## 請願趣旨

平成18年3月、西鉄が宮地岳線の新宮駅～津屋崎駅間の廃止届を九州陸運局に提出しました。今後、沿線の3自治体、県、国、西鉄による代替え交通手段等の協議が行われ、現状のまま協議が進めば鉄道として存続することはほぼ絶望的です。

私ども沿線住民は、この区間を鉄道としての存続の可能性を福津市及び市議会に今一度、方法手段等調査検討していただき、ご尽力を賜りたく請願致します。

西鉄宮地岳線は地域の住民に長年にわたって親しまれた鉄道路線であり、特に車の運転が出来ない高齢者や障がい者、子どもや学生にとって欠くことの出来ない交通手段です。

特に本市では水産高校の学生が多数通学に利用しており、当区間の廃止によって通学の交通手段が消滅してしまうこととなります。また、路線の廃止は移動手段を奪われることであり、代替えの交通手段が出来たとしても現在の所要時間や交通費での利用は困難であり、不便を強いる結果となります。

観光事業及び商工業の活性化、古墳公園推進事業等の取り組みを始めたばかりの福津市に於いて廃線は、地元の交流人口の減少を招き、津屋崎、宮地、西福間、更には福津市全体の観光振興並びに商工振興に多大な影響を及ぼすのは必至であります。

先人の住民運動により本線の開通を行った歴史的背景も含め、宮地岳線鉄道を廃止することは市全体のイメージや価値を損なう結果にもつながります。

以上の理由で請願いたします。

## 請願項目

西鉄宮地岳線を鉄道としての存続の可能性を福津市及び市議会において調査検討すること。

以上

平成18年 5月30日

福津市議会議長 阿部 巖 殿